

取扱説明書

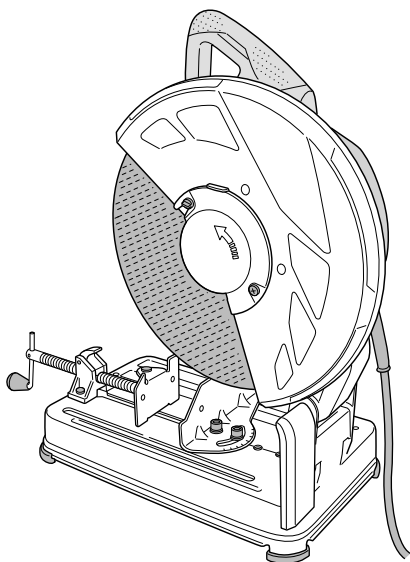
用途

- 軟鋼パイプ、各種軟鋼形鋼、ステンレス、軽天材などの切断

高速切断機

FCC 14ST

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
本製品の使用上のご注意	4
各部の名称	7
標準付属品	7

はじめに

ご使用前の準備	8
ご使用前の点検	9
各種操作方法について	11
切断する	15
トイシの取りはずし・取付け	17

使い方

点検とお手入れ	18
仕様	21
別売部品	21
ご修理のときは	裏表紙

その他

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ 子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

警告

- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
 - 使用しない、または修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。

⚠ 警告

- 16 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- 17 不意な始動は避けてください。**
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 18 屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
- 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- 19 油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- 20 損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- 21 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- 22 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。**
- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理しますと、事故やけがの原因になります。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

二重絶縁について

電気の流れる所と外観部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に回マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、高速切断機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - 表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② ホイルカバー、サブカバーは、必ず取付けて使用してください。
 - トイシが破壊したとき、けがの原因になります。
- ③ 本機は、トイシを使用して金属を切断する工具です。指定以外の用途に使用しないでください。
 - 思わぬけがの原因になります。
- ④ 指定以外の刃物（丸のこ刃、チップソーなど）での切断作業はしないでください。
 - 丸のことしての保護装置がなく、けがの原因になります。
- ⑤ 使用するトイシは、トイシに表示されている最高使用周速度が 72 m/s { $4,300 \text{ m/min}$ } 以上の補強入りレジノイド切断トイシを使用してください。
 - 正規以外のトイシを使用すると、トイシが破壊し、けがの原因になります。
- ⑥ トイシの外周面以外は、使用しないでください。加工物の切断、または凹部、溝などを加工するとき、トイシをこじることがないようにしてください。
 - 使用中にトイシが破壊し、けがの原因になります。
- ⑦ トイシにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - 異常があると、トイシが破壊し、けがの原因になります。
- ⑧ 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
 - 火災ややけどの原因になります。

⚠ 警告

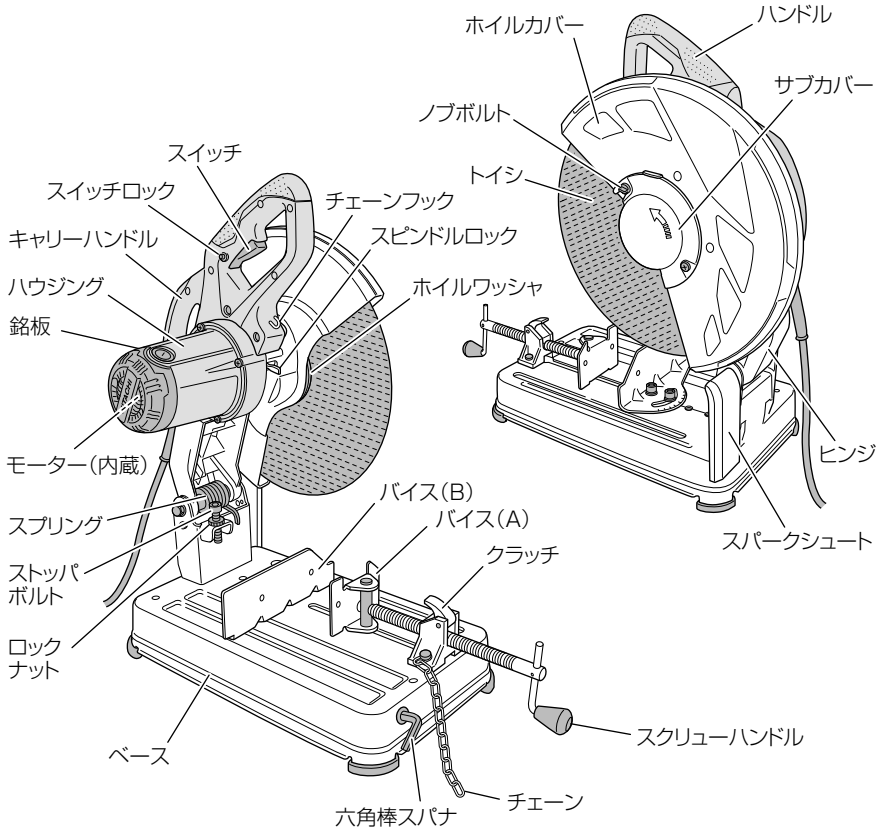
- ⑨ 水、研削液などは使用しないでください。
 - 本製品は乾式用のため、トイシの破壊によるけがや感電の恐れがあります。
- ⑩ 使用中は、トイシに手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
- ⑪ トイシを交換する場合は、この取扱説明書の手順に従って確実にこなしてください。
 - トイシの締付けボルトがゆるんだまま使用すると、トイシがはずれ、けがの原因になります。また、締めすぎも、トイシをいためることになり、トイシの破壊の原因になります。必ず付属の工具で、正しく締付けてください。
- ⑫ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑬ 誤って落としたり、ぶつけたときは、トイシや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑭ 【事業者の方へ】トイシの交換・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。

関連法令 労働安全衛生法 第59条
労働安全衛生規則 第36条
安全衛生特別教育規程 第2条

⚠注意

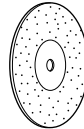
- ① 傾斜のない平坦な場所にすえ付けて、安定した状態にしてください。
 - 不安定な状態では、作業中、材料が動いてトイシが破壊し、けがの原因になります。
- ② トイシや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ゆるんだり、はずれた場合、けがの原因になります。
- ③ 新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの正面位置から必ず一時身体を避けてください。
 - トイシが破壊したとき、けがの原因になります。
- ④ 試運転を励行してください。試運転時間は P.10 の「試運転を行う」の項をご参照ください。
 - 試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。またコードを引っ掛けたりしないでください。
 - 材料や機体などを落したとき、事故の原因になります。
- ⑥ 材料は、本体付属のバイスで確実に固定してください。
 - 材料の固定が不十分ですと材料が飛んだり、トイシが破壊してけがの原因になります。
- ⑦ トイシは、水分や湿気のない乾燥した場所に保管してください。
 - 水分や湿気によって強度が低下し、トイシ破壊の原因になります。
- ⑧ 回転させたまま、放置しないでください。
 - けがの原因になります。
- ⑨ 切断する材料の上に手を置いたり、コードを乗せたまま作業しないでください。
 - 手を切ったり、コードを切断して、感電につながる恐れがあります。
- ⑩ 切断直後の材料やトイシは、高温になっているので触れないでください。
 - やけどの原因になります。

各部の名称



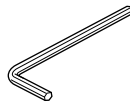
標準付属品

トイシ (外径 355 mm × 厚さ 3.0 mm × 穴径 25.4 mm)(本体装着)



1 枚

六角棒スパナ (8mm)(本体装着)



1 個

ご使用前の準備

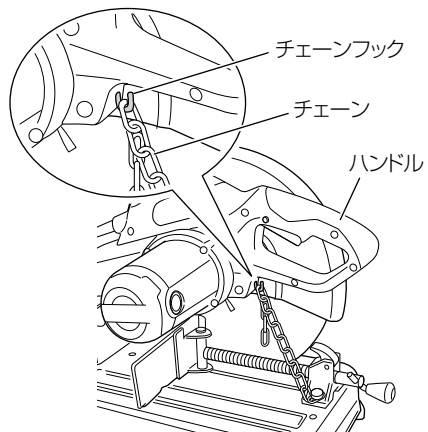
●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●すえ付け

- 傾斜のない平坦な場所へ、安定した状態にすえ付けてください。
- 工場出荷時にチェーンで可動部を固定しておりますので、ハンドルを少し下に押しつけてチェーンをチェーンフックからはずしてください。
機体を移動させるときは、チェーンを掛けてください。



●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

⚠ 警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
1.25	10
2	15
3.5	30

ご使用前の点検

⚠ 警告

万一の事故を防止するため、手順①～⑥については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

注 ④ ホイルカバー、サブカバーが変形・破損している場合、⑤ スピンドルロックが元の位置に戻らない場合、⑥ トイシの面振れが直らない場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

1 スイッチが切れていることを確かめる

- スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。スイッチは引くと入り、はなすと切れます。
- スイッチロックが押されたままになっていないか、一度スイッチを引き、はなしたときスイッチが戻ることを必ず確認してください。(P.11「スイッチについて」参照)

2 電源を確かめる

- お求めの高速切断機は 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、モーターの回転が異常に速くなり、破損する恐れがあります。
- 直流電源で使用しないでください。本体の損傷をまねくだけでなく危険です。

3 トイシを点検する

- トイシは正規のものか、またヒビや割れがないか調べてください。
- トイシは正規の状態に取付けられ、十分締付けられているか点検してください。P.17「トイシの取りはずし・取付け」参照。

⚠ 警告

ホイルカバー、サブカバーは必ず取付けて使用してください。けがの原因になります。

4 ホイルカバー、サブカバーの確認

ホイルカバー、サブカバーの取付けがゆるんでいないこと、変形や破損などがないことを確認してください。

5 スピンドルロックを点検する

スピンドルロックを押してはなしたときに、確実に戻ることを点検してください。P.17「トイシの取りはずし・取付け」参照。

注 モーターが回転中は、スピンドルロックを押さないでください。また、スピンドルロックを押したままスイッチを入れないでください。

6

トイシの面振れを点検する

- 付属の六角棒スパナをボルトにさし込み、時計方向に回してトイシを回転させたときに、トイシの面振れを確認してください。
面振れが大きいと、けがや故障の原因になります。
- トイシの面振れが大きい場合は、トイシの取付けに問題がないか、異物がはさまっていないか確認してください。
P.17「トイシの取りはずし・取付け」参照。

7

コンセントを点検する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜けやすいときはコンセントの修理が必要です。
そのまま使用すると危険ですので、電気工事店にご相談ください。

警告

- スイッチを入れるときは、トイシが切断材料や、まわりの物に接触していないことを確認してください。
接触していることを知らずにスイッチを入れると、トイシが破壊することがあり、けがの原因になります。
- 新しいトイシを取付けてはじめてスイッチを入れるときは、トイシ正面から必ず一時身体を避けてください。

8

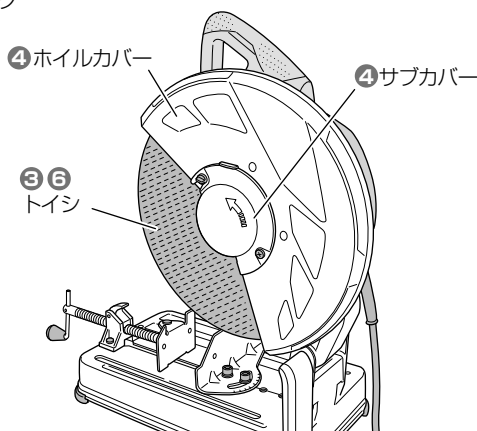
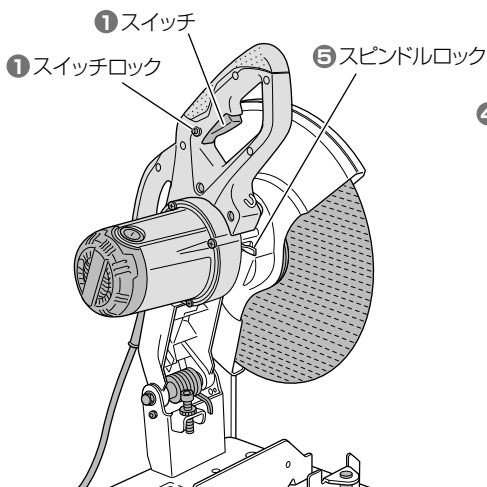
試運転を行う

作業前には必ず試運転を行って、機体とトイシに異常がないことを確認してください。

試運転は、必ずトイシを人のいない方向に向けて行ってください。

試運転時間は

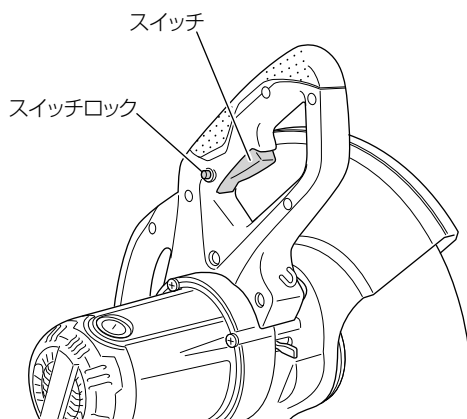
トイシ交換のとき・・・3分間以上
その日の作業始めるとき・・・1分間以上です。



各種操作方法について

●スイッチについて

- スイッチは引くと入り、はなすと切れます。スイッチをいっぱいに引いた状態でスイッチロックを押し込むと、スイッチをはなしてもスイッチが入ったままの連続運転になります。
- スイッチを切るときは、再度スイッチを引いて、スイッチロックが解除されてから指をはなします。

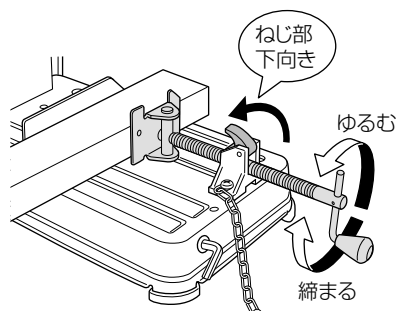
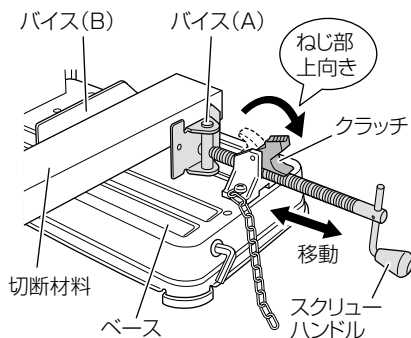


●ワンタッチバイスについて

クラッチの向きを変えることにより、バイス(A)の早送りとねじ送りの切替えができます。

切断する材料に合わせて使い分けることにより、能率良く作業できます。

- クラッチのねじ部を上向きにしたとき、スクリーハンドルを押したり引いたりすれば、バイス(A)の早送りができます。スクリーハンドルを前後に動かし、バイス(A)を材料に突き当てます。
- クラッチのねじ部を下向きに倒し、ねじ部をかみあわせたとき、スクリーハンドルを回せばバイス(A)のねじ送りができます。



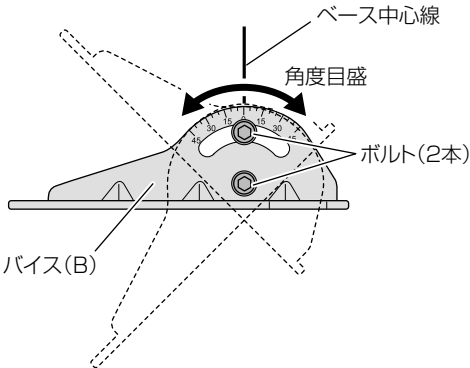
注 クラッチがはずれないときはスクリーハンドルを少しゆるむ方向に回してください。

警告

バイス (B) 取付用ボルト (2 本) は確実に締付けてください。
材料が動いたり、トイシが破損するなど、けがの原因になります。

● 切断角度の調整について

- バイス (B) の角度を調整して 45° までの角度で切断できます。
- 付属の六角棒スパナでボルトをゆるめ、角度目盛を目安にベースの刻印に合わせて角度を調整してください。
- 角度を合わせたらボルトを確実に締付けてください。

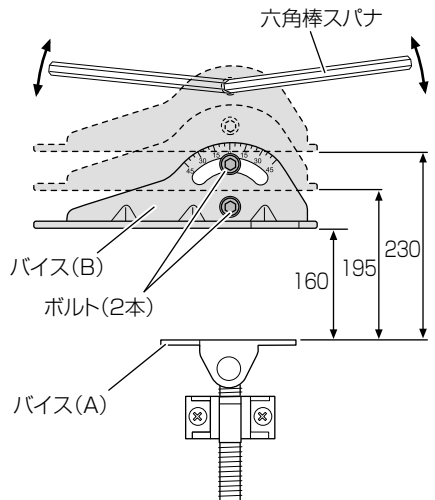


● バイスの開き幅をひろげる

工場出荷時のバイスの最大開き幅は、160 mm です。より幅の広い材料を切断するときは、バイス (B) の取付け位置を移動して作業を行います。

六角棒スパナでボルトをゆるめてはずし、バイス (B) の取付け位置を移動し、ボルトで固定します。

- 注**
- 六角棒スパナがヒンジ部などに当たり締めにくいときは、六角棒スパナの位置を交互に変えて締めてください。
 - バイスの開き幅を大きくすると、角度切断で切り残しが出る場合があります。



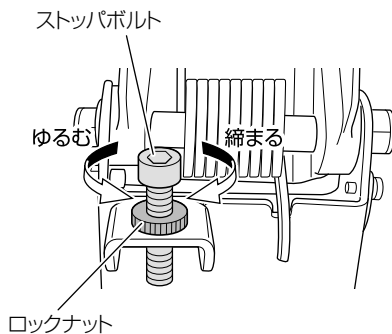
●切込み深さの調整

ストップボルトの高さを変えて切込み深さを調整することができます。

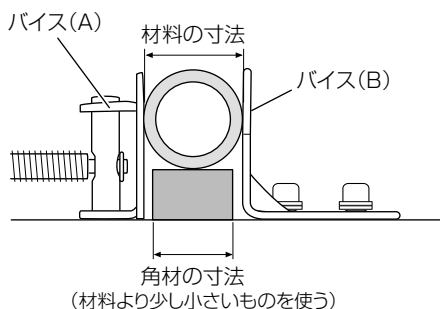
ロックナットをゆるめ、ストップボルトを回して高さを調節し、ロックナットを締めてストップボルトを固定してください。材料によって切り残りをなくすことができます。

注 • 材料の形状、トイシの外径によっては切残しができます。

- トイシ交換時には、必ずストップボルトの高さを再調整してください。
- ストップボルトを低くし過ぎるとトイシがベースを切断することがあります。



トイシが摩耗して外径が小さくなったときは、図の様に、材料の寸法より少し小さい角材などをパイプ(A)と(B)の間に入れて使用すると、切り残しがなく切断できます。



切断する

- 軟鋼パイプ、各種軟鋼形鋼、ステンレス、軽天材などの切断

警告

- 材料の固定は正しく、確実に行ってください。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 切断材料の取付け、取りはずしは必ずトイシが停止してから行ってください。

けがの原因になります。

- 切り落とし側が薄い場合は、切断後、トイシが完全に停止してからハンドルを持ち上げてください。

切り落とした材料がトイシと接触して飛散することがあり、けがの原因になります。

- 材料を切断するときは、引火しやすいもの、傷つきやすいものは遠ざけてください。

- 切削油などを付けて切断しないでください。

切削油、切削液およびワックスなどの種類によっては、切断時の火花で発火する恐れがあります。

- 切り落とした材料、切りくずは高温になるので、素手で触らないでください。

注意

- ハンドルを急激に押し下げてトイシを材料に強く当てないでください。トイシのヒビ、割れの原因になります。
- 万一、切断中にトイシが停止した場合は、直ちにスイッチを切り材料からトイシをはずしてください。その後、無負荷運転を行い、異常のないことを確認してください。

注 ● スピンドルロック (P.7「各部の名称」参照) は、トイシ回転軸を固定するものです。モーター運転中は絶対に押さないでください。

- 切込み時にハンドルを強く押しつけても早く切れません。強く押しすぎるとモーターに無理がかかり故障の原因となり、また作業能率も悪くなります。

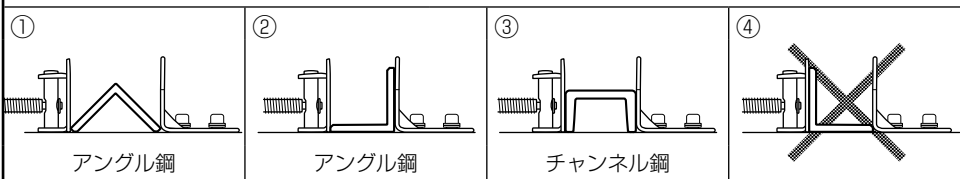
- 切断するのに1分以上かかる場合は、途中で切込みを止め10～20秒無負荷で運転してモーターを冷却しながら作業してください。

- トイシのロック等により切断を途中で中断したときは、スイッチを切り、必ず最初の切断位置まで本体を戻してから、再度スイッチを入れ切断を始めてください。

アングル鋼の固定方法

材料がアングル鋼、チャンネル鋼の場合は、必ず①～③図のように固定してください。アングル鋼を④図のように固定しないでください。

④図の状態固定し、切断すると材料が動き、切断精度が悪くなる場合があります。



1

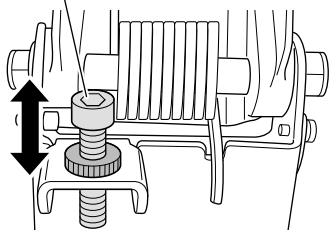
トイシに合わせて 切込み深さを調整する

トイシがベースの底面に触れないように調整します。

トイシの摩耗が激しいときは、1カットごとに調整してください。

(P.14「切込み深さの調整」参照)

ストップボルト



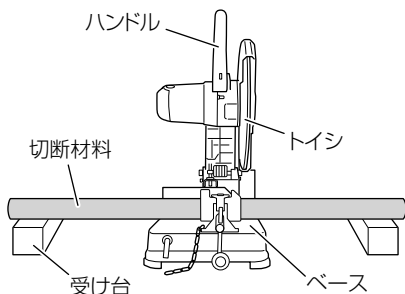
2

材料を固定する

• バイス (A)、(B) で材料をしっかりと固定します。用途に応じて、開き幅や角度を調整します。

(P.12「ワンタッチバイスについて」
P.13「切断角度の調整について」
P.13「バイスの開き幅をひろげる」
参照)

• 長い材料の場合は、必ず端部をベースと同じ高さの受け台にのせ、材料を安定させて作業してください。



警告

スイッチを入れる前に、周囲の安全を十分に確認してください。

3

切断する

• スイッチを入れトイシの回転が最高速になってから、ハンドルを静かに下げて材料に近づけます。

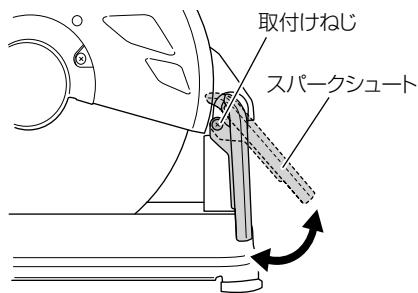
• トイシが材料に接触したら、ハンドルを徐々に押し下げて切込みます。火花が一番出る状態を目安として切込んでください。

「スパークシュートについて」参照

スパークシュートについて

スパークシュートはプラスドライバーで取付けねじをゆるめると角度を調節できます。

周囲の状況や作業に応じて角度を変え、火花の方向を調節してください。



4

作業の終了

切断が終了したらスイッチを切り、トイシの回転が完全に停止してからハンドルを持ち上げてください。

トイシの取りはずし・取付け

⚠警告

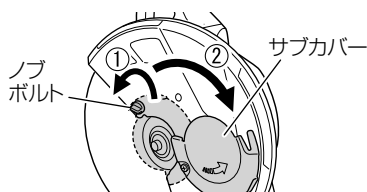
- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 切断作業の直後にトイシを取りはずすときは、トイシが熱くなっていることがありますので注意してください。
- トイシ取付けのボルトは、付属の六角棒スパナを使って十分に締付けてください。

⚠注意

- トイシはヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
- トイシの取付け後はスピンドルロックが元の位置に戻ってトイシ軸がロックされていないことを確認してください。

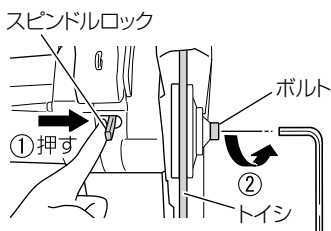
1 サブカバーを開く

ノブボルトを手でゆるめ、サブカバーを移動します。



2 トイシ軸を固定する

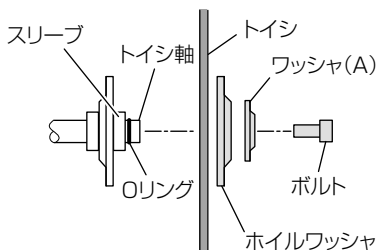
スピンドルロックを押し込みながら、付属の六角棒スパナでボルトを反時計方向に回すと、トイシの回転が止まる位置があります。この状態でトイシ軸が固定されます。



3 トイシをはずす

六角棒スパナを反時計方向に回し、ボルトとワッシャ (A)、ホイールワッシャ、トイシの順ではずします。

注 Oリングやスリーブをトイシ軸からはずさないでください。



4 トイシを取付ける

ボルト、ワッシャ (A)、ホイールワッシャに付いている研削粉、ごみなどを取りのぞき、①、②の取りはずしとは逆の要領でトイシ軸にトイシを取付けます。

点検とお手入れ

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● トイシの点検

ときどきトイシを点検し、異常がある場合は、P.17「トイシの取りはずし・取付け」に従い、新品と交換してください。

● 取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

● 本体はきれいに

石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

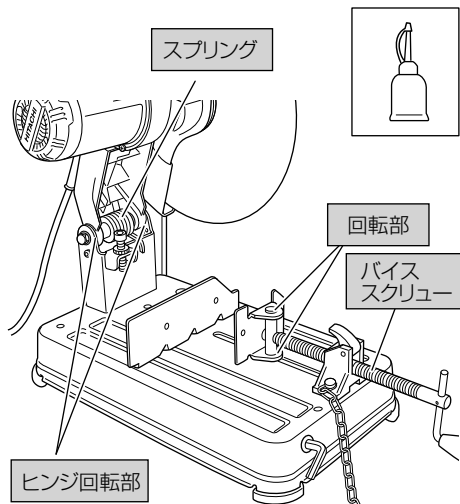
● モーター部の取扱について

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング下方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

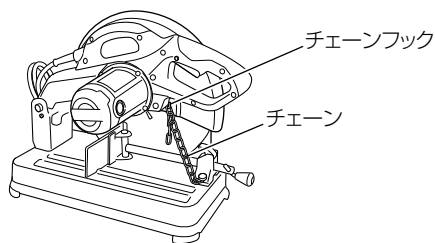
●注油する

ときどき下図の部分に潤滑油を塗ってください。



●製品や付属品の保管

作業後は、チェーンをチェーンフックに掛け、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。



- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所。

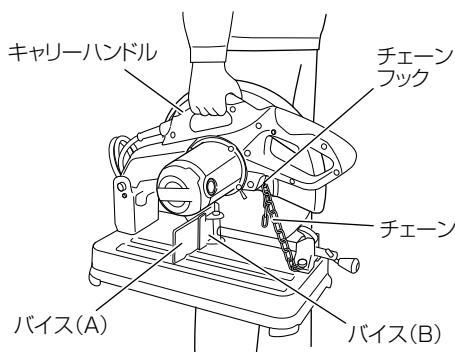
●持ち運び

移動するときは、切断材料をはずし、パイス (A)、(B) を軽く突き当てて、はずれないようにします。

機体を最も低い位置にしてチェーンをチェーンフックに掛けます。

キャリーハンドルを右手で持ち、チェーンが前方になるようにして運んでください。

運搬時は、チェーンに物が引っ掛かったりしないように注意してください。

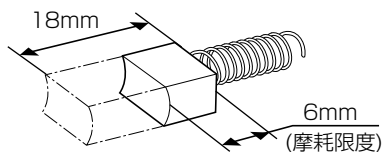


●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターが故障する原因となりますので、長さが摩耗限度(6mm ぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

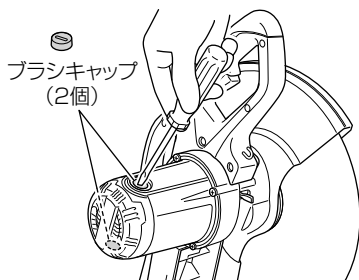
注 新品のカーボンブラシと交換の際は、弊社指定のカーボンブラシを使用してください。



●カーボンブラシの交換方法

1 ブラシキャップをはずす

マイナスドライバーなどでブラシキャップを反時計方向に回してはずします。



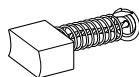
3 新しいカーボンブラシを取付ける

ブラシホルダの角穴に合わせてカーボンブラシを指で押し込みます。

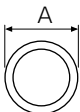
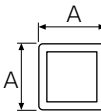
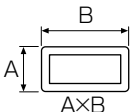
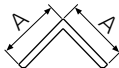
4 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押しさえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

2 カーボンブラシを取出す

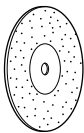
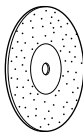


仕 様

形 名		FCC 14ST			
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V				
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター				
全 負 荷 電 流	15 A				
消 費 電 力	1,450 W				
使用できる刃物	最高使用周速度が 72 m/s {4,300 m/min} 以上の補強入りレジノイド切断トイシ				
使用できるトイシ寸法	外径 355 mm × 厚さ 4.0 mm 以下 × 穴径 25.4 mm				
無 負 荷 回 転 数	3,800 min ⁻¹ {回 / 分}				
無負荷トイシ周速度	71 m/s {4,240 m/min}				
最大切断寸法	切断形状				
	バイス角 0° (直角)	120 mm	120 mm	95 mm × 200 mm	130 mm
	バイス角 45°	115 mm	104 mm	115 mm × 104 mm	100 mm
角度切り範囲	0° (直角) ~ 45°				
本 体 寸 法	幅 590 mm × 奥行 300 mm × 高さ 640 mm				
質量 (コードを除く)	17.0 kg				
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル 2 m				

別売部品

販売店でお求めください。
(別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

切断トイシ	
ステンレス・金属用 『研ちゃんカット』 クロス (補強) 入り トイシ記号 A 30 P B・F 最高使用周速度 80 m/s {4,800 m/min} 外径 355 mm × 厚さ 2.5 mm × 穴径 25.4 mm	
軽天材・一般鋼材用 『研ちゃんカット』 クロス (補強) 入り トイシ記号 A 36 P B・F 最高使用周速度 72 m/s {4,300 m/min} 外径 355 mm × 厚さ 2.8 mm × 穴径 25.4 mm	

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ


お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点を
ご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>